

日本最古のシエドラー型ピントラス橋りょう

伝えたい千葉の産業技術 100 選

登録番号	第032号
名称(型式等)	村田川橋りょう
所在地	千葉県千葉市中央区～市原市
設立(竣工)年	明治 45(1912)年 昭和 38(1963)年現位置に架設

選定理由

村田川橋りょうを所有する京葉臨海鉄道株式会社は、京葉臨海工業地帯の造成に伴い、昭和 37(1962)年 11 月、当時の日本国有鉄道、千葉県及び進出企業が出資をし、設立された貨物専用の地方鉄道です。当初から、京葉臨海工業地帯で生産される物資輸送の担い手として、主に石油類をはじめ、化学工業品等を輸送しています。近年コンテナでは、モーダルシフト(貨物トラックによる輸送を海上輸送や鉄道輸送に切り替えること)の受け皿として「一般汎用及び I S O 規格海上コンテナ」の輸送にも力をいれ、工業物資は勿論、千葉県産の「米・野菜・果物」等、生活物資を輸送し、発着とも広く全国ネット輸送を展開しています。

村田川橋りょうの橋桁は、日本最古のシエドラー型ピントラス橋りょうであり、明治 44 (1911)年に製造され、支間が 62.4m、重量が約 150 トンあります。ピントラスとは、トラスの接続点をピンで結合させたものです。アメリカン・ブリッジ社から旧国鉄が輸入し、東海道本線大井川橋りょうに架設されていました。昭和 33 (1958) 年に大井川から撤去されたものを京葉臨海鉄道が購入し再架設した歴史的な構造物です。

村田川橋りょうは、平成 30 (2018) 年に土木学会選奨土木遺産に選出されています。



写真 1 : 村田川橋りょう



写真 2 : 銘板

協力：京葉臨海鉄道株式会社